

第17回夏季大学「新しい気象学」教室開講のお知らせ

主催 日本気象学会
後援 気象庁, 東京都教育委員会, 日本地学教育学会,
 財団法人日本気象協会, 地人書館

毎年開催し好評を得ました「新しい気象学」を本年も開催します。

この講座は、新しい気象学の普及をめざし、主として小・中・高校の地学・理科担当教師を対象として行うものですから、特に教職にある方の多数のご参加を希望いたします。

記

日時 昭和58年8月2日(火) 12時より8月5日(金) 16時まで

場所 東京都千代田区大手町1の3の4
 気象庁講堂

但し 台風来しゅう時には講堂の使用が不能になりますので、会場を他に変更することもあります。

対象 小・中・高校の理科担当教師および気象愛好者を主体とし、その他学生および一般の希望者。

受講料 一般5,000円, 教員4,500円, 気象学会員・日本地学教育学会員4,300円, 学生4,000円

申込先 東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内
 日本気象学会事務局 (〒 100)
 TBL 03-212-8341 (内線 469)

申込締切 昭和54年7月20日まで

申込方法 次頁の様式の申込用紙に記入して申し込んで下さい。参加決定次第受講票をお送りします。ただし、定員に達し次第締め切ります。

受講料は、1. 現金書留, 2. 郵便為替, 3. 振替貯金(口座番号 東京3-5958, 加入者名 日本気象学会)のうち適当なものを御利用下さい。

特典 受講者には、講義全内容の講義録を無料配布します。全講義終了後、受講者には受講証を交付し、全講義出席者には日本気象学会入会の資格および入会金の免除、学会出版物についての便宜をはかります。

講義録 講義録のみ希望される方は代金を添えて必要部数を申し込んで下さい。1部1,300円, 送金方法は受講料の送金方法に準じて下さい。なお、刊行部数が少ないので希望者はできるだけ早めに申し込んで下さい。

講演時間表

	午前 (10時~12時)	午後 (13時30分~15時30分)
8月2日(火)	—————	Now cast 池田 学 アメダス, レーダー, 衛星などのデータを使って楽しく, 自然を見る。
8月3日(水)	境界層の観測 藤谷 徳之助 最新の測器を用いて大気中の風や温度の乱れを捉える技術を紹介。	衛星画像解析 土屋 清 ひまわり, NOAA, LANDSAT など人工衛星による地球観測のしくみ, データ処理技術, 21世紀の地球環境観測計画などの話。
8月4日(木)	地震予知の現状 長宗 留 男 地震予知の技術はどこまで進んでいるのか, 警戒宣言とこれに関連する情報について。	地球流体実験 木村 竜 治 大規模な大気現象の中にはミニチュア模型によってその性質を調べることのできるものがある。
8月5日(金)	今後の気象衛星 里 見 穂 気象衛星の現状と将来展望。衛星による新しい気象観測の可能性とその利用方法などを紹介する。	映画「警戒宣言が発せられた日」ほか。 (希望により気象庁の見学, 懇談会を行います)

第17回 夏季大学「新しい気象学」教室受講申込書

東京都千代田区大手町1の3の4 (〒100)

日本気象学会事務局御中

第17回夏季大学の受講を希望いたしますので申し込みます。

受講料は、1. 現金書留、2. 郵便為替、3. 振替貯金 で送りました。

(受講料の送金方法 1~3 のいずれかを○で囲んで下さい。)

昭和58年 月 日

氏 名 年齢 歳 職業

(郵便番号:)

自宅住所

電 ()

(郵便番号:)

勤務先

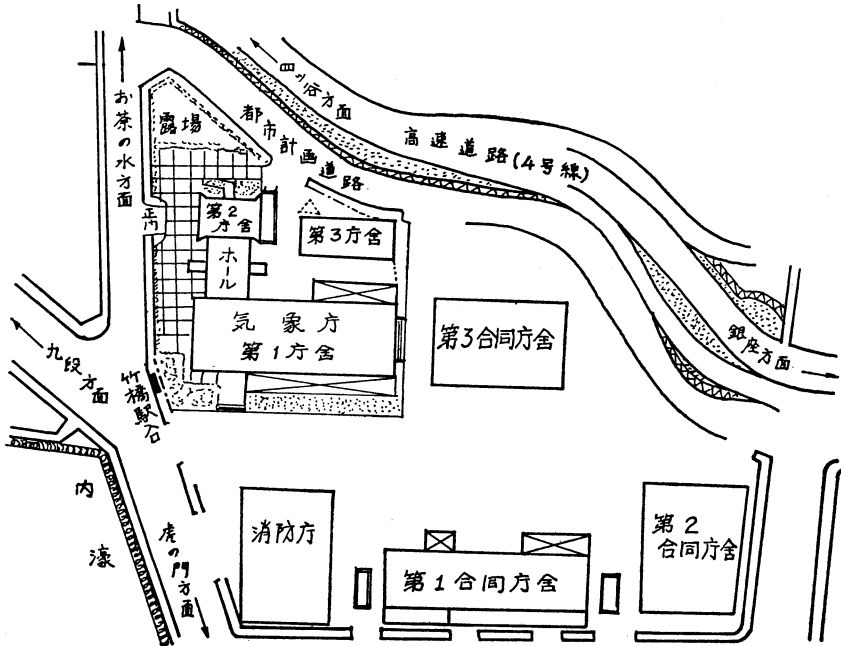
電 ()

所属学会

◎ 申込期日は7月20日までですが、定員をオーバーした場合は申込みをお断りすることがあります。

..... 切り取り線

会場案内図



(道順) 地下鉄東西線竹橋下車がもっとも便利です。